

評価実施 令和 6 年度	事務事業マネジメントシート						
事務事業名	国立市商工会運営支援事業			主管部	生活環境部	主管課	まちの振興課
政策名	8 産業						
施策名	基本施策24 商工業振興と観光施策による市域経済力の強化						
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠	国立市中小企業振興基本条例
	一般	07	01	02	036000		
事業期間	単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		期間限定複数年度		
	年度 ~ 年度						

事務事業の概要

事業内容	活動実績及び事業計画
<p>国立市内の商工業者の多くが参加する国立市商工会が、商工業者の総合的な振興・発展を目的として実施している経営支援事業と、天下市、くにたちスタイル等の地域振興事業の運営に対し、補助金を交付する。</p> <p>①国立市商工会から市へ補助金申請書を提出 ②市で審査後、交付決定を行い、交付決定通知書を送付 ③交付決定に基づき、商工会から市へ補助金前渡交付請求書を提出 ④請求に基づき補助金を交付 ⑤事業年度終了後、事業報告書、収支決算書を市へ提出</p> <p>補助金交付以外に、商工会の各種事業委員会に対し職員を派遣し、行政との連携を図っている。</p>	<p>令和6年度の実績(令和6年度に行った主な活動を具体的に記載) 経営改善普及事業、地域総合振興事業、駐車場経営事業、国立ブランド事業を実施した商工会へ補助金を交付した。</p> <p>令和7年度以降の事業計画(令和7年度以降に計画している主な活動を具体的に記 国立市商工会とともに、急激な物価高や人材不足により厳しい経営環境に直面している小規模事業者に対して、経営支援の強化を行う。また、企業しやすいまちづくりを目指して、関係機関と連携した起業者への支援も併行して実施する。</p>

1 現状把握の部(PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的
この事業を実施する経緯・背景・課題等(なぜこの事業を行うのか) 市内商工業者支援の一端を担う商工会への補助を行うことで市内商工業者のさらなる振興を図る。
事業の対象者及び対象とした理由(できるだけ細かくセグメント化する) 国立市商工会 商工会会員
この事業による直接的な効果及び施策の成果向上への道筋 商工会の活動に対し補助金を交付して、市内の商工業者への支援事業のバックアップをすることで、商工業者の安定・発展を促し、市内の商工業の振興を図る。

(2)各指標等の推移

項目	名称	単位	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算見込み)(A)	令和7年度 (令和7年度目標 値)(B)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
① 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	地域総合振興事業数	ア 件	12	12	11	11		0
		イ						0
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	会員数	ア 人	1,040	1,014	1,004	1,004		0
		イ						0
③ 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標)	経営指導件数	ア 件	972	1,113	901	901		0
		イ						0
④ 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標)	市内小売業者の年間商品販売額	ア 億円	594	594	594	594		0
		イ						0
	小売吸引力指数		0.87	0.87	0.87	0.87		0

(3)事務事業コストの推移

項目	単位	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)(A)	令和6年度 (決算見込み)(B)	令和7年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1		0
	延べ業務時間	時間	10	10	10		0
	正規職員人件費計(C)	千円	40	40	40		0
	会計年度任用職員従事人数	人	0	0	0		0
	延べ業務時間	時間					0
	会計年度任用職員人件費計(E)	千円					0
	人件費計(F)	千円	40	40	40		0
事業費	物件費・維持補修費	千円					0
	扶助費	千円					0
	補助費等	千円	4,176	10,110	10,140	10,070	30
	繰出金	千円					0
	その他(普通建設事業費・公債費・投資及び出資金等)	千円					0
	事業費計(G)	千円	4,176	10,110	10,140	10,070	30
歳入	国庫支出金	千円	4,176				0
	都支出金	千円					0
	地方債	千円					0
	その他	千円					0
	歳入計(H)	千円	4,176	0	0	0	0
事業費における一般財源 (G)-(H)		千円	0	10,110	10,140	10,070	30

2 評価の部(CHECK)

必要性評価	① 事業の必要性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【以下に理由を記入】 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？ 商工業者自らがの経営改善に努める一方で、市の商工業を発展させるには、国及び都の実施方針に基づいた小規模事業者への経営改善普及事業や地域総合振興事業等を実施している商工会と連携する必要がある。商工会の円滑な事業運営には一定の補助が必要である。
	② 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 十分有効的である ⇒【以下に理由を記入】 成果指標は目標を達成しているか？施策の目的に十分貢献しているか？成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 本補助金を活用することで、商工会ウェブサイトのリニューアルや天下市の出店料を増額せず実施するなどが行われており、商工会において十分に活用していると考えられる。
効率性評価	③ 事業の効率性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 十分効率的である ⇒【以下に理由を記入】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)さらなる歳入を確保できないか？やり方を工夫して延べ業務時間数を削減できないか？成果を下げずに外部委託できないか？ 商工業の振興策を継続し、さらに新たな事業を展開するためには費用が伴う。事業費を削減してしまうと、市内商工業の振興・発展に影響を及ぼすことが考えられる。
	④ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 事業の内容が一部の受益者に偏っているか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市内の商工業者が営業を継続することが、地域の住民にとって安全・安心を与える。このことから、この補助金が市内の商工業振興につながり、やがて市民への利便性の確保・地域振興へとつながっていく。
⑤この事業の対象者からの意見(想定している効果と対象者の感じている効果のギャップはあるか？) 補助金額を含め、どのような支援が適切か全体のバランスを見ながら検討する必要がある。		
⑥この事業は施策の成果向上や公益の増進に役立っているか？ 市内の商工業者の営業の安定・発展は市全体の経済的発展につながり、当事業はその支援事業として他に代替のない事業である。		

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)

(1) 評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本補助金について、経営支援に向けては、商工会員に向けた助成事業への活用、地域振興に向けては、商工会ホームページのリニューアル、天下市への出店料を増額しないために活用するなど、有効的に活用していると考えられ、引き続き市内の商工業振興に向けて、本事業を活用した商工会独自の事業展開が期待される。	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載		
<input type="checkbox"/> 改善策を検討・実施する ⇒【以下に具体的に記入】 <input type="checkbox"/> 現状維持(担当課評価がすべて適切である場合)		
	【改善策】	【改善策を実施した場合の効果】
	【改善策】	【改善策を実施した場合の効果】
	【改善策】	【改善策を実施した場合の効果】
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		
(6) 令和8年度予算編成に向けて		
【事業の方向性】	【取組方針】	
継続	引き続き本補助金を交付し、商工会の運営支援、商工会の独自事業の展開を推進することで、市内商工振興によるまちの賑わい創出を目指す。	
【予算の規模(R7比較)】		
現状維持		